

① JCHO(ジェイコー)とは

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）は、病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等の運営を行い、5事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）、5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、リハビリテーション、その他地域において必要とされる医療および介護を提供する機能の確保を図り、公衆衛生の向上や住民福祉の増進等に寄与することを目的として設立された団体です。

◆JCHOのシンボルマーク



JCHOのシンボルマークは、地域医療・地域包括ケア連携の「要」として、高齢化社会に於ける地域住民の多様なニーズに応え、人々の生活を支える躍動感・ひろがりを表すようデザインされています

◆JCHOの看護理念

JCHOの看護理念は「地域住民の幸福な生活を支える看護」です。

◆JCHOにおける看護継続教育の考え方

【教育の理念】

看護職としての自律と成長をめざして学び続ける

【教育目的】

- 地域医療で重視される疾病や医療・介護・福祉を繋げる視点を育てる継続的な学習、病院内だけでなく地域においても活用できる看護実践方法の習得を支援することにより、地域住民の多様なニーズに応える安全・安心な看護を提供できる人材を育成する。
- 専門職・医療チームの一員としての責任・使命感を持ち、興味を持つ分野・領域において、主体的に学習や組織改革に参画できる人材を育成する。

【教育目標】

- 日常の看護（業務・実践）に役立つ学習活動に参加することができる。
- 問題解決能力・判断力を身につけ、個人や集団のニーズを理解して、患者とその家族・地域住民及びチームの問題解決のために具体的な行動がとれる。
- チームの一員としての役割を認識して成果を出し、患者とその家族及び組織から信頼・承認を得ることができる。

◆JCHO 看護職員の人材育成の特徴

看護職には、チーム医療・地域包括ケアのキーパーソンとしての役割が期待されており、JCHO のミッションを実現できる人材を育成するため、早い段階から新人教育プログラムの充実はもちろん幅広い業務に関わる基礎的研修を各病院において実施しています。

また、継続教育機関として研修センターを有し、一定の実務経験を経た後に専門的知識・技術を身につけられる研修や職位別研修を本部等において実施しています。その他、認定看護師資格取得のための支援や JCHO 看護師キャリアラダーを活用し、JCHO の使命である地域住民を支える看護が実践できる人材育成を目標として一人ひとりの成長に合わせたステップアップを支援しています。

